

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、細江圏域） 第2回会議 議事録

開催日時	令和5年10月25日（水）10時から11時30分まで
参加者	29名 協議体委員14名（地区11名 事業所等3名）、関係機関15名（高齢者福祉課：2名、北区長寿保険課：1名、コミュニティ担当：4名、地域包括支援センター細江：1名、市社協地域支援課：1名、市社協北地区センター6名）
場所	みをつくし文化センター 大研修室
内容	<p>1. 挨拶 細江圏域生活支援体制づくり協議体 協議体会長</p> <p>2. 自己紹介 新任の紹介 5人</p> <p>3. 協議内容</p> <p>①第1回協議体会議の振り返り ※第1回協議体会議議事録</p> <p>②ごみ出し支援アンケート結果の情報共有、意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回協議体会議終了後に各自治会連合会長と話し合い、アンケートの内容を確認し、班長・組長へアンケートを依頼した。引佐地区のみ班長からごみ出しに困っていると思われる方へ当事者向けのアンケートを配布していただいた。 ・3地区それぞれのごみ出し支援アンケートの結果を事務局で主な意見を抜粋し、共有をした。3地区で同じようなアンケートの結果になった。 <p>○具体的なアンケート集計結果</p> <p>【細江町、引佐町、三ケ日町 班長、組長向けアンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域でごみ出しに困っている件数はほとんど0件だったが、少数ごみ出しに困っているという意見もあった。 <p>(1) 今後どんな支援が考えられるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣での助け合い ・ごみ集積所の増設 ・家族の助け合い ・現在は困って居ない為、支援は必要ではないが、数年後高齢化が進んでくると必要になってくる <p>(2) 具体的な困りごと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点では困っていない ・ごみ集積所までの距離が遠い ・外国籍のごみ出し支援のカレンダーが欲しい ・ごみ出しのカゴがいっぱいになってしまう <p>【引佐地区当事者向けアンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどがごみ出しには困っていないという回答だったが、少数困って居るという意見があった。

(1) 困って居ない場合、どのような理由で困っていないか

- ・自力でできている
- ・親族の支援を受けている
- ・近隣で助け合っている
- ・ヘルパーを利用している

(2) 困っている場合、具体的にどのようなことに困っているか

- ・ごみを集積所に持っていけない
- ・ごみを指定時間内に出せない
- ・ごみの分別方法が分からない
- ・車がないとごみを出しに行けない

(意見交換)

- ・外国籍の方で困るのは当日出すときに別のものを出してしまうこと。自治会長も日本人だと伝えるのが難しい。外国人のごみ出しカレンダーの話が出たが当事者にきちんと届いているのか。
- ・自治会連合会で浜松市からどの言語のごみ出しのカレンダーが必要か自治会長にアンケートが来て、回答している。いただいたカレンダーは、班長や組長を通して当事者の手元に届くようにしている。
- ・ごみ出しに困っているのは少数だが、少数の困っている人を無視してはいけないと思う。今までは近隣の助け合いで出来ていたが、段々助け合いでやるのが難しくなっている。今は困っている人が少数でも、数年後は今より増えてくる。増えてきた時にどうしてらいいか考えることが必要だと思う。
- ・ごみ出しに困っている人はわずかで、結果は予想がついたかもしれないが、アンケートでごみ出しに困っている人がいるということを周知するものになったのではないかな。

②アンケートの活用について 意見交換

- ・アンケートの結果だが、自治会に協力してもらうもの（自助）と、協議体会議で考える必要があるもの（共助）、行政に要望をする必要があるもの（公助）の3つに分かれてくると思う。協議体で考えることも幅が広く、もう少し取捨選択をしていかなければいけないと思う。
- ・自治会にアンケートのお礼と結果を報告したほうが良いと思う。
- ・アンケートを自治会に報告する時に、ごみを出せない人がいる、ごみを分別できない人がいるという2点に絞ってできるだけ分かりやすくして報告したほうが良い。
- ・現在困っている方は少数だが、それぞれ様々な事情や状況にあり、最終的には個別の対応が必要になってくる。民生委員は個別に訪問をしているので、民生委員との連携も必要になってくる。また、近隣の人に助けってもらうのはありがたいが、心苦しいと

という意見もある。頼む側も頼みやすいような助け合いのシステムが今後必要。

③地域包括支援センター細江から

ごみ出し支援アンケートの集計結果を見ると、みなさんと一緒に困っている人は少数で、既にヘルパーなど支援の手が入っている所は、困っていないという認識になっているのではないかと感じた。ごみ出しで困っているという相談が入った時に、まず考えることは、家族や親族で手助けができる人はいないか。それがいなければ介護保険や地域の有償のボランティアをお願いする形になる。しかし、介護保険を申請してから利用するまでに1~2ヶ月の間かかり、その間は、地区社協でやっているボランティアにごみ出し支援をお願いすることがある。有償ボランティアで、ごみ出し支援の金額が決まっているが、「もっと払ってもいい」という人もいれば、逆に「こんなに払わなければいけないのか」という人もいて、それぞれ個人で価値観が異なり難しい。また、介護保険でのごみ出し支援へ切り替える際に、本人が切り替えに納得できないことがある。介護保険の方が地域のボランティアと比べると、値段がどうしても高くなってしまう。今まではボランティアで安くできていたのに、介護保険でごみ出しのためだけに、こんなに払わなければいけないのかという意見もある。利用する際にきちんと説明しているが、高齢者の方も少しずつ認知機能が落ちていて、その場で理解はできていても、切り替え時に理解するのが難しい。今後は、介護保険と地域のボランティアの区分けの説明やシステム作りが課題になってくるのではないかと。アンケートの結果では、困っていないという意見が多数で、困っているという方が少数だが、声を挙げていないのかという人もいる。また会議の場で、地域で拾った声を共有して一緒に考えていければと思う。

(意見交換)

- ・有償ボランティアという話があったが、私ども地区社協も100円でごみ出し支援を実施している。今はお金を出してごみ出しを頼むことができる業者もある。思い付きだが、隣に困っている方がいた場合、100円と一緒にごみを出すのもありかなと。頼む方も無料だと頼みにくいし、ちょっとしたお金を使って頼むという考えもあるのかなと。
- ・シニアクラブでは、みんな車で来るため、足腰が悪いという人やごみが出せないという人は来ない。近所でごみ出しに困っている案件があり、ヘルパーさんにごみ出しを頼んでいる。しかし、ヘルパーさんは9時に来るため、8:30のごみ出しの時間に間に合わず、前日に出してしまっていると聞いた。近所のため、一緒に持って行こうかと提案をしようとしたが、あまり付き合いがないと提案しにくい。近隣でごみ出しのシステムを作り、有料にすれば頼む人も頼みやすいし、やる人もやりやすいと思う。
- ・引佐ではそんなにごみ出しの問題はないと思う。シニアクラブの会員の中にも1人で暮らしている方が3人いて様子を見に訪問していた。訪問して話を聞いていても、ごみの問題はあまり出てこなかった。家の中を見てみると、ごみが溜まっている様子はなく、週に1回市内に住んでいる家族が来てごみを持って返ってきているみたいだ

	<p>った。また、ボランティアという名前が出ているが、ごみを集めてお金をもらうというのはボランティアに適しているのか。ボランティアは自分のためにやるものであり、お金が発生するものではないと思う。誤解をされないように、違う名前を付けた方がいいのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会としてはごみ出しについての活動はまだ何もできていない。地域の情報は個人事業主等が色々と知っていると思う。そこら辺の情報をみなさんに共有できればと思う。外国人について自治会でも対応に困っていると思うが、勤務先での教育はできないのか。多少は違ってくると思う。 ・地区社協やシニアクラブなどそれぞれの組織があるが、組織の中でごみ出しについて困っていることを共有してもらえればと思う。集積所の変更などは行政が関わることであり、そのような問題に関しては、自治会の協力が必要。今後も協議体会議は、課題を協議する場であり、色々議論して考えていけばよいと思う。 <p>④進行予定表をもとに今後のスケジュールの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ出しの課題はすぐに解決できるものではなく、時間をかかってくる。次年度もごみ出しのテーマで進めていく予定。 <p>4. 令和5年度第3回協議体会議日程（案）について 令和6年2月21日（水）10：00～ みをつくし文化センター 大研修室 ※事前打ち合わせ会 1月17日（水）10：00～ 市社協北地区センター（正副会長）</p> <p>5. その他 配布物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11/29 ボランティアセミナーちらし ・12/9 親子防災フェスタちらし <p>6. 閉会 細江圏域生活支援体制づくり協議体 副会長</p>
<p>今後の見通し等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実施したごみ出し支援アンケートの結果各自治会連合会と共有する。 ・アンケート結果を自助、共助、公助に整理し、対応していく。